技術士 1 次試験に合格して

神尾　宏子
（かみお　ひろこ）

勤務先
日本データーサービス株式会社
環境保全室
〒065-0016　札幌市東区北 16 条東 19 丁目 1-14
TEL　011-780-1114　　FAX　011-780-1124
E-mail　h-kamio@ndsinc.co.jp

■ 専門：環境部門

1. 生い立ち

私の生まれは夕張です。生後すぐに札幌へ引っ越したため、生まれ故郷の記憶はありません。

就学前から小学校 6 年生までは、毎年祖父母の家に滞在し、豊かな自然の中、いとこ達と日が暮れるまで夢中になって遊びました。

最も楽しかったのは、近所の沢でカジカ釣りをする事でした。餌のミミズを探し、木の枝と木綿糸で釣り竿を作りました。澄んだ水面に釣り糸を垂らすと、10 匹、20 匹、面白いように釣れました。

小学校 3 年生の夏休み、前年まで沢山いたカジカが沢から居なくなりました。風景に変わった様子はなく、突然の出来事に喪失感で一杯になりました。

その後、沢にカジカが戻ることはなく、この出来事は、『環境』を意識する原点となりました。

2. 『調査する仕事』との出会い

初めて『調査する仕事』を認識したのは、小学生の頃でした。父に頼まれ、1 枚 50 円で地質図の塗色をした事がきっかけだったと思います。

その後も（お小遣いに釣られて）手伝いを続け、短大でデザインを学ぶ頃には、父の会社で環境調査のアルバイトをするようになりました。

短大を卒業する頃、世の中は就職氷河期真只中、就職試験は連戦連敗、“女性”“短大卒”というだけで門前払いされた事もありました。

結局、デザインの道を諦め、環境調査のアルバイトで培ったスキルを活かし働く事になりました。

3. 技術士への挑戦

当時勤めていた会社の社長は、応用理学部門の技術士で、国内外で広く活躍されていました。そこで初めて技術士の存在を知り、憧れを抱きました。

入社 5 年目より一次試験受験を開始、当時あった共通科目がネックとなり、不合格の連続でした。

その後、結婚をきっかけに退職し、10 年ほど一次試験受験から遠ざかりました。

縁あって現在勤める会社に入社、再び一次試験への挑戦を始めました。前回の受験で蓄積した事は記憶の彼方、ゼロからの再出発です。

先輩技術士のアドバイスを参考に、次の 5 つの方法を実行し、試験に臨みました。

① 過去問 10 年分を少しずつ解き、解説を読む。
② NHK 高校講座（生物・化学）を録画し、問題の不明箇所と重なるテーマを何度も視聴。
③ 通勤等の隙間時間を利用、テキストを読む。
④ 図書館に通う。
⑤ 睡眠時間を確保する。

再挑戦 1 年目は、合格点に達したものの緊張して受験番号をマークミスし失格となりました。

2 年目は、1 点足りずに不合格、緊張して時間配分を誤り、文章をよく読まずにパスした問題が後でサービス問題だったと分かり大後悔しました。

3 年目は、試験開始と同時に深呼吸をして緊張を和らげ、余裕をもって合格しました。

受験するにあたり、夫、上司や先輩達から励まされ、辛い 3 年間を乗り越える事が出来ました。この場を借りて、御礼申し上げます。

4. 今後の目標

現在、上司の勧めもあり、建設部門（建設環境）で二次試験を受験することになりました。様々な人に助けられ、願書や論文の書き方を学んでいます。

まずは、技術士を目指し、いずれは社会に貢献して皆様から受けた御恩をお返ししたいと思います。